

患者さんへ

「T 細胞リンパ腫の予後とその予後因子の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2014 年 1 月から 2024 年 12 月までに湘南鎌倉総合病院で T 細胞リンパ腫と診断され治療を受けた患者さん
2 研究目的・方法	T 細胞リンパ腫は全悪性リンパ腫のおよそ 20%を占めます。病態はいまだわからないことが多く、標準治療が確立していない細分類も多数あります。そのため経過も全世界的に見ても良好とは言えません。また再発・難治性の T 細胞リンパ腫に対して救済化学療法(再発時の治療)として新規薬剤が複数使用可能となっていますが、どれも良好な成績とは言えません。これらのことから T 細胞リンパ腫の経過を改善するためにさらなる研究が必要です。 本研究では当院で診断治療された T 細胞リンパ腫の方の情報を診療録より収集し、経過に影響する因子を検討します。また救済化学療法として使用している新規薬剤の効果を算出し、それに影響を与える要素を抽出、検討します。 研究の期間:施設院長許可後(2025 年 3 月予定) ～2027 年 2 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、併存疾患、病期分類、実施した治療内容、治療効果、再発の有無、治療の有害事象 等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 血液内科 鎌田 渉 神奈川県 鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717